

2/5
早稲田

生活保護受給 世帯数が微減

昨年11月、人数も減少

厚生労働省は四日、全国で生活保護を受けているのは昨年十一月時点で前月比三百四十世帯減の百六十一万四千九百世帯になったと発表した。受給者は前月から千六百二十人減り二百十

六万六千七百七十三人だった。

保護世帯の子供が学校を卒業したり就職したりして受給が減りやすい三、四月以外の減少は珍しく、厚生省は「景気回復が要因とみられるが、このまま減少に転じるかどうかは判断できない」としている。

六十五歳以上の高齢者世帯の受給世帯数は増えたが、景気回復で就労が進んだ影響で、働ける世帯を含む「その他の世帯」などの受給世帯数が減少した。